



## 様式2(施策)

### Ⅲ 内部要因の分析(Check)

・フィジーなどの島しょ地域で課題やニーズ等現地調査を行ったところ、廃棄物の処理技術や山間部などの小集落における発電設備において支援ニーズがあることが確認できた。今後は県内企業に海外の状況を提供しつつ、企業の状況や意向を把握するなど、海外での支援ニーズや課題に対応できる県内企業とのマッチングを推進する必要がある。

### Ⅳ 外部環境の分析(Check)

・基地跡地の浄化を実施しているドイツでの先進地事例では、滑走路跡地の土壌だけでなく地下水の油汚染も発生し、微生物を活用した地下水浄化対策を実施していた。これまでは地下水汚染を想定していない土壌表層部の浄化技術開発を行ってきたが、先進地事例から場所によっては地下水汚染の併発も想定されるため、その浄化工法の検討が必要である。

### Ⅴ 施策の推進戦略案(Action)

・海外現地調査で新たに判明した課題やニーズについて、県内企業に状況を提供しつつ、企業の状況や意向を把握するなど、県内企業とのマッチングを促進し、海外展開を支援することにより、県内中小企業の事業拡大を推進し、新規雇用の創出を図る。  
・地下水汚染について、県内の汚染状況の情報収集を進めつつ、県内外の企業との意見交換を行い、地下水汚染への浄化工法開発支援の検討を行う。